



タンク・リンス・キット

Multi-Pro® 5800 ターフ・スプレーヤ

モデル番号41614-シリアル番号 311000001 以上

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

このリンス・キットは、液剤散布期のタンクやそのホースに残っている薬剤をすすぎ洗いするための装置です。このキットは、芝生に液剤を散布するための専用装置のための補助装置（アタッチメント）であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。

この製品は、関連するEU規制に適合していません； 詳細については、DOC シート（規格適合証明書）をご覧ください。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解してください。オペレータや周囲の人の人身事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載されています。製品の設計製造、特に安全性には常に最大の注意を払っておりますが、この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合：
www.Toro.com 製品・アクセサリに関する情報、
代理店についての情報、お買い上げ製品の登録
などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、
分からないことはお気軽に弊社代理店またはカ
スタマー・サービスにおたずねください。お問
い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシ
リアル番号をお知らせください。モデル番号と
シリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置は
図1の通りです。

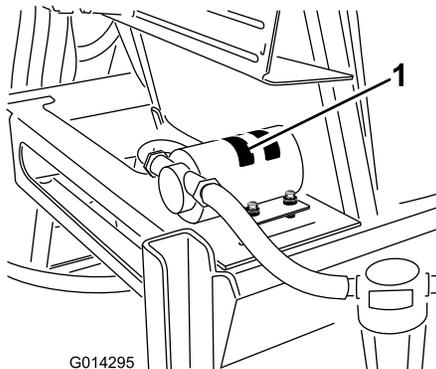


図 1

1. 銘板取り付け位置

安全について

この他、散布車両のオペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順もよくお読みください。

薬剤の安全管理

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるため取り扱いには十分注意すること。

- ・ 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データ・シートなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがね（ゴーグル）、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることでできる適切な保護対策を講じる。
- ・ 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- ・ 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否すること！
- ・ 散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認すること。
- ・ 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。
- ・ 薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- ・ 目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- ・ 薬剤を安全に使用するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。
- ・ 薬剤の取扱いは換気のよい場所で行ってください。
- ・ 作業にあたっては保護めがね（ゴーグル）など、メーカーが指定する安全対策を必ず実行してください。皮膚の露出をできるだけ小さくしてください。
- ・ いつでも、特に薬剤タンクに薬液を作るときに、真水を手元に用意してください。
- ・ 薬剤を取り扱い中は、飲食や喫煙をしないでください。

- ・ 作業終了後は直ちに手足や露出部をよく洗ってください。
- ・ 使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。
- ・ 薬剤や薬剤からの蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- ・ 国や自治体の法律や規則を守って散布作業を行ってください。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	すすぎタンク 補給口キャップ バルクヘッド・フィッティング 透明ガasket プラスチック製フランジ・ナット	1 1 1 1 1	すすぎタンク用バルクヘッド・フィッティングを取り付けます。
3	すすぎタンク固定ベルト ボルト ワッシャ ロックナット キャリッジ・ボルト ロックナット	2 2 4 2 1 1	すすぎタンクを取り付けます。
4	すすぎ用ノズル バルクヘッド・フィッティング ショルダ・ボルト ブッシュ すすぎベーン(羽根車) ガasket プラスチック製フランジ・ナット	2 2 2 2 2 2 2	すすぎ用ノズルを取り付けます。
5	ポンプ ストレート・フィッティング	1 2	ポンプを取り付けます。
6	ホース(すすぎノズル用) ホース・クランプ T字フィッティング ホース(給液用) フィルタ・アセンブリ ホース(すすぎタンク用) 保護チューブ ケーブル・タイ	2 10 1 1 1 1 1 2	ホースとフィルタを取り付けます。
7	遅延タイマー ヒューズ, 40 A ダッシュボード・スイッチ リレー 電源リレー ねじ #10-24	1 1 1 1 1 2	遅延タイマーとダッシュボード・スイッチを取り付けます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 散布車を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. タンクと配管内部に残っている液体を排出する。詳細についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

注 液剤を排出した後でも、ホースの一部に薬剤が残っている可能性がありますから、ホースを取り外す際には十分に注意し、またバケツなどを用意しておいてください。

▲ 注意

農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- ・ 農薬を使う前に、農薬容器に張ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。
- ・ スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。
- ・ 作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。

2

すすぎタンク用バルクヘッド・フィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎタンク
1	補給口キャップ
1	バルクヘッド・フィッティング
1	透明ガスケット
1	プラスチック製フランジ・ナット

手順

1. 付属部品の中からバルクヘッド・フィッティングとすすぎタンク（キャップ付き）を探し出す。

2. すすぎタンクの底の穴に、バルクヘッド・フィッティングを取り付ける。
 - A. バルクヘッド・フィッティングに透明ガスケットを取り付ける。
 - B. タンクの高さよりも長い針金を用意し、これをバルクヘッド・フィッティングのフォーク穴の一つに取り付ける（図 2）。

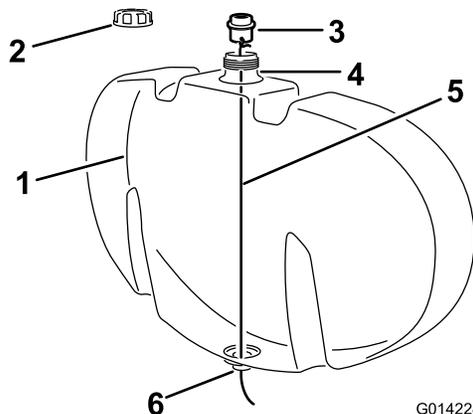


図 2

G014228

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. すすぎタンク | 4. リンスタンの給水口（開いている） |
| 2. 補給口キャップ | 5. 針金 |
| 3. バルクヘッド・フィッティング | 6. リンスタンの底の開口 |

- C. すすぎタンクのキャップ（図 2）を取る。
- D. 給水口から針金の先端をタンク内に降ろし、タンク底部にある開口に針金を通す（図 2）。
- E. 口から出てきた針金を使ってバルクヘッド・フィッティングをタンク下の穴に導き入れる（図 3）。

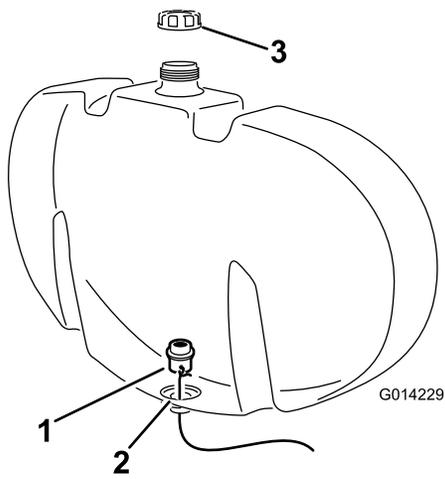


図 3

1. バルクヘッド・フィッティング (針金を付けた状態)
2. リンスタンの底の開口
3. 補給口キャップ

F. バルクヘッド・フィッティングを開口の正しい位置にセットする (透明ガスケットがタンクの内壁に密着していることを確認する (図 3))。

3. プラスチック製のフランジ・ナットを使ってバルクヘッド・フィッティングをタンクに固定する (図 4)。

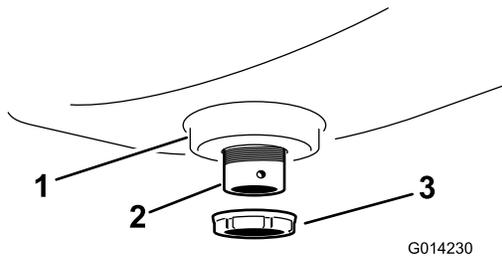


図 4

1. すずぎタンクの最低部
2. バルクヘッド・フィッティング (取り付け状態)
3. プラスチック製フランジ・ナット

4. バルクヘッド・フィッティングに 90 度フィッティングを取り付け、リテーナ・フォークで固定する (図 5)。フィッティングを回して後ろ向きにする。

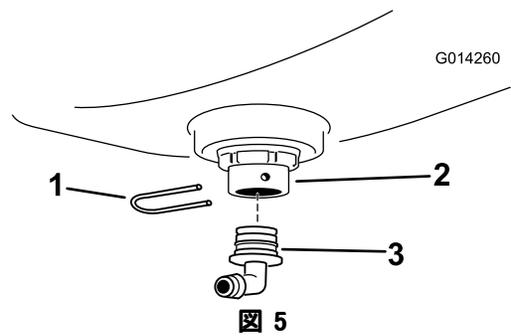


図 5

1. リテーナ・フォーク
2. バルクヘッド・フィッティング
3. 90° フィッティング

3

すずぎタンクを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すずぎタンク固定ベルト
2	ボルト
4	ワッシャ
2	ロックナット
1	キャリッジ・ボルト
1	ロックナット

タンクの準備

1. バルブ取り付けレールをフレームに固定しているボルトをゆるめる (図 6)。

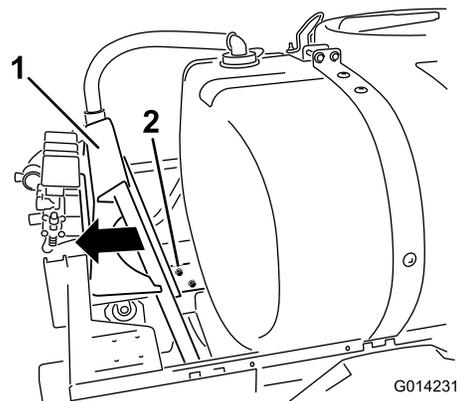


図 6

1. 取り付けレール
2. ボルト

2. そして、取り付けレールを後方へ移動させる。これはすずぎタンクを取り付けるスペースを作るためのわずかな調整である。

- 調整が終わったら、ボルトを締め付けて取り付けレールをフレーム上にしっかり固定する。ボルトは、30 ft-lb (40 N.m = 4.2 kg.m) にトルク締めする。
- メイン・タンクの後部と上部から給液ホースを外す (図 7)。

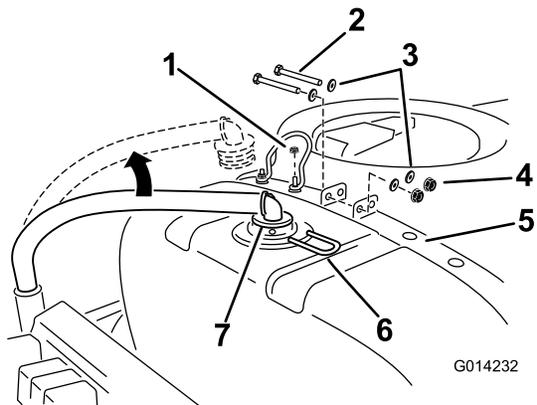


図 7

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. ロックナット | 5. 右後部のタンク固定ベルト |
| 2. ボルト | 6. リテーナ・フォーク |
| 3. ワッシャ | 7. 給液ホース |
| 4. ロックナット | |

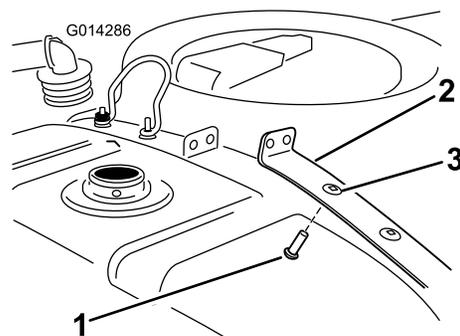


図 8

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. キャリッジ・ボルト | 3. 内側の穴 |
| 2. 右後部のタンク固定ベルト | |

- 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。

ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認する。**締めすぎないように注意すること。**

すすぎタンクを取り付ける

- すすぎタンクを取り付ける (図 9)。

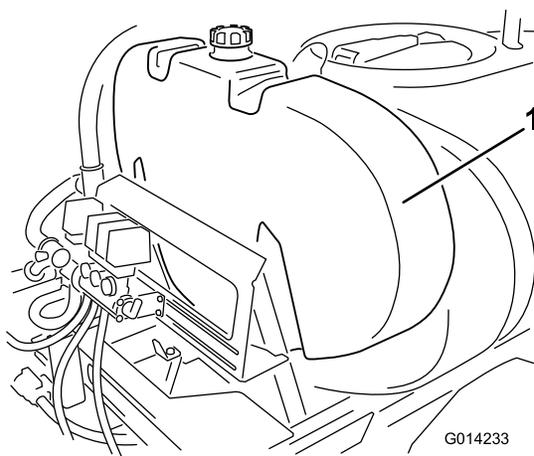


図 9

- すすぎタンク

- 先ほどメイン・タンクの後部固定ベルトに取り付けた金具に、すすぎタンク用の固定ベルトを取り付ける。

注 蓋ストップは、すすぎタンクの左側のベルトとメイン・タンクのベルトの上に来るように取り付け、ロックナットで固定してください。

すすぎタンク用固定ベルトの固定金具を取り付ける

- 右後部タンク固定ベルトの内側の穴にキャリッジ・ボルトを取り付ける (図 8)。

左後部固定ベルトのキャリッジ・ボルトは、蓋ストップのリング部に通す。

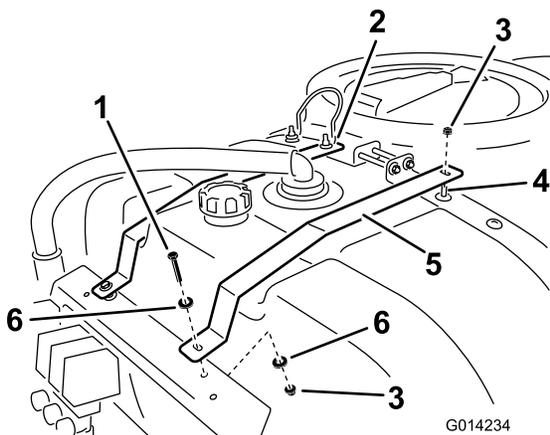


図 10

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. ボルト | 4. キャリッジ・ボルト |
| 2. 蓋ストップ | 5. すずぎタンク固定ベルト |
| 3. ロックナット | 6. ワッシャ |

- ロックナット2個を使用して、メインの後部固定ベルトに、すずぎタンク固定ベルトを固定する。
- すずぎタンク用の固定ベルトを取り付けレールに固定する；ボルト 2 本、ワッシャ 4 枚とロックナット 2 個を使用。各ボルトとナットを注意深く締め付けする。すずぎタンクが定位置にきちんと固定されていることが必要だが、ベルトに締め付けられて変形してはいけな
- タンク後部に給液ホースを取り付け、先ほど取り外したリテーナ・フォークで固定する。

注 すずぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

4

すずぎ用ノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すずぎ用ノズル
2	バルクヘッド・フィッティング
2	ショルダ・ボルト
2	ブッシュ
2	すずぎペーン(羽根車)
2	ガスケット
2	プラスチック製フランジ・ナット

メイン・タンクに穴を開ける

- タンクの蓋を開けてフィルタ・バスケットを取り外す。
- メイン・タンクについているドリル・マーク (2つ) を探し出す (図 11)。

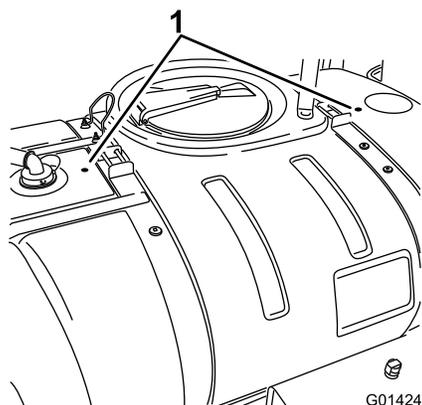


図 11

- ドリル・マーク

- タンクの蓋の後ろ側にあるドリル・マークに移動する。

注 ドリル作業時に出る削りかすを回収するために、タンクの内側の、ドリルで穴を開ける位置の下に回収容器を取り付けてください。

重要 タンク内部に削りかすなどを残すと配管を詰まらせるなどのトラブルが発生する可能性が高くなります。

- 1-3/4 inch (45 mm) の円形ノコを使ってマークのところに穴を切る (図 12)。

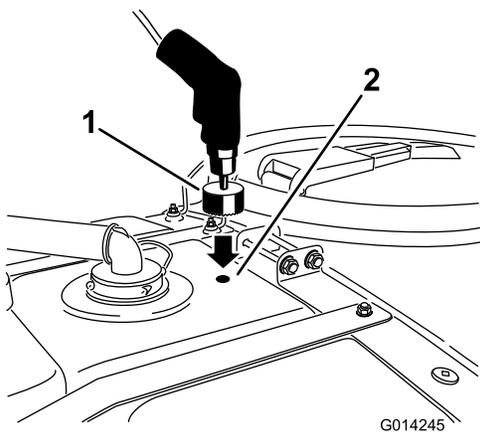


図 12

1. 円形ノコギリ
2. 蓋の後ろにあるドリル・マーク

5. できた穴の縁を滑らかに仕上げる。穴を切る際にタンク内部に落ちたごみや樹脂の粉は完全に取り除く。
6. タンクの蓋の後ろ側にあるドリル・マークに移動する (図 13)。

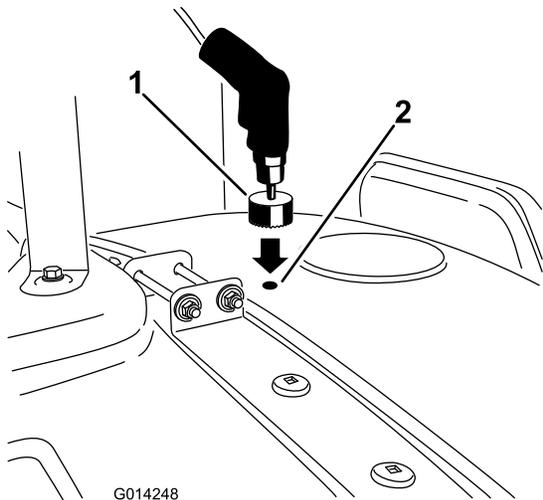


図 13

1. 円形ノコギリ
2. 蓋の前にあるドリル・マーク

すすぎ用ノズルを取り付ける

1. ノズルを 図 14 のように組み立てる。

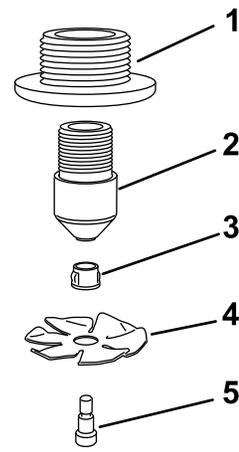


図 14

1. バルクヘッド・フィッティング
2. すすぎ用ノズル
3. ブッシュ
4. すすぎベーン(羽根車)
5. ショルダ・ボルト

- A. ショルダ・ボルトの上からすすぎベーンとブッシュを取り付ける。
 - B. すすぎ用ノズルに全部のパーツを取り付ける。
 - C. すすぎ用ノズル・アセンブリをバルクヘッドに取り付ける。
2. 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズル・アセンブリを通す (図 15)。

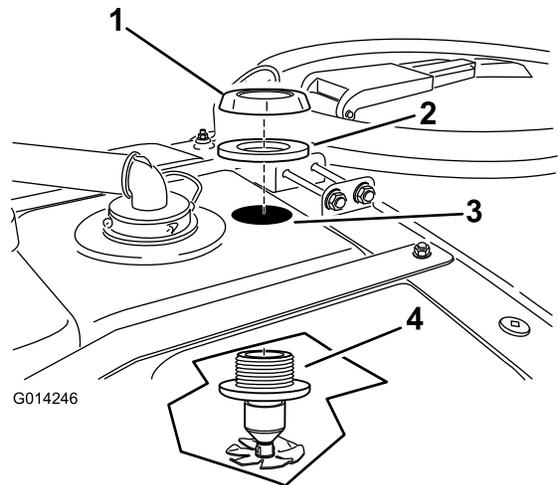


図 15

1. プラスチック製フランジ・ナット
2. ガasket
3. 先ほど開けた穴
4. すすぎ用ノズル・アセンブリ

3. タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、ガスケットと、プラスチック製フランジ・ナットを取り付ける (図 15)。タンク表面とプラスチック製ナットの間が完全にシールされていることを確認する。

4. すずぎ用ノズルのバルクヘッドの開口のねじ山に、フィッティングを取り付ける (図 16)。

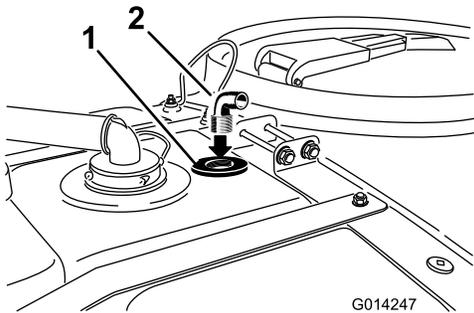


図 16

1. ノズル・バルクヘッド・アセ 2. 90° フィッティング
ンブリ

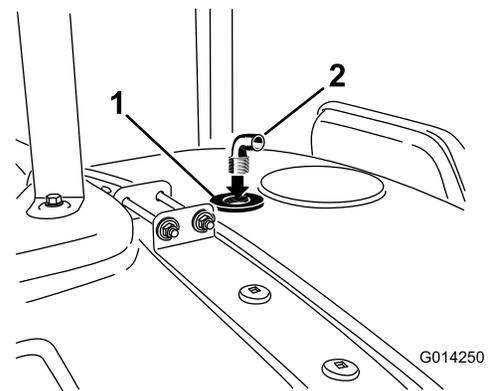


図 18

1. ノズル・バルクヘッド・アセ 2. 90° フィッティング
ンブリ

5. ホースのバーブ (鋸歯部) を、機体右側に向ける。
6. タンクの前側にあるドリル・マークに移動する。
7. 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズル・アセンブリを通す (図 17)。

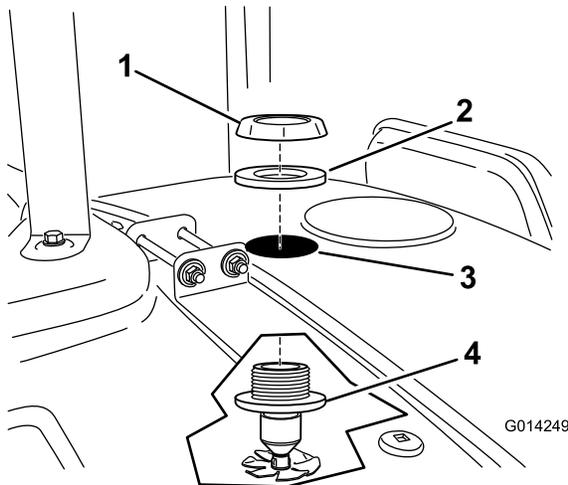


図 17

1. プラスチック製フランジ・ナット 3. 先ほど開けた穴
2. ガasket 4. すずぎ用ノズル・アセンブリ

8. タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、ガスケットと、プラスチック製フランジ・ナットを取り付ける (図 17)。タンク表面とプラスチック製ナットの間が完全にシールされていることを確認する。
9. すずぎ用ノズルのバルクヘッドの開口のねじ山に、フィッティングを取り付ける (図 18)。

10. ホースのバーブ (鋸歯部) を、機体右側に向ける。

5

ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ポンプ
2	ストレート・フィッティング

手順

1. 付属部品の中からポンプを探し出し、メイン・タンクの後部右側にあるプラットフォームのタンク・フレームに取り付ける (図 19)。

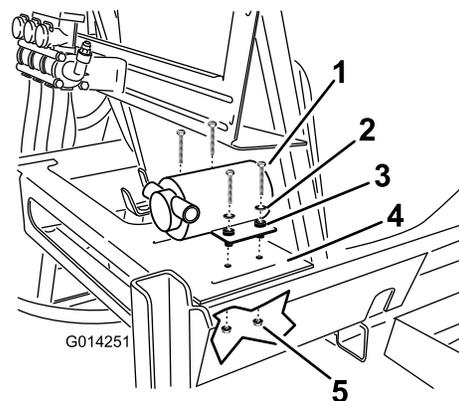


図 19

1. ボルト 4. タンク・フレーム
2. ワッシャ 5. ロックナット
3. ポンプ

2. ボルト 4 本、ワッシャ 4 枚、ロックナット 4 個を使用して、ポンプをフレームに固定する (図 19)。
3. 付属部品の中からホース用のストレート・フィッティング (先がバーブ (鋸歯形状) のコネクタ) を探し出す。これらのフィッティングをポンプの給水口と吐出口に取り付ける (図 20)。

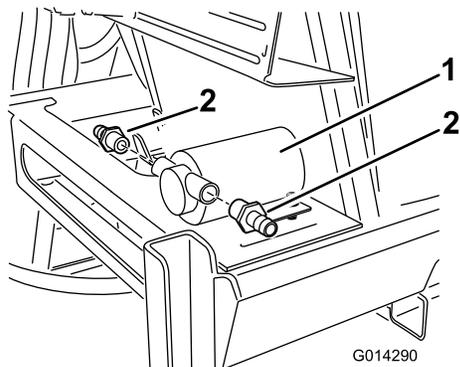


図 20

1. ポンプ
2. ストレート・コネクタ

4. ポンプから来ているハーネスを探し出す。タンク後部のメイン配線ハーネスの中にある、Rinse Pump というラベルのついたコネクタを探し出す。
5. ポンプをメイン配線ハーネスに接続する。

6

ホースとフィルタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ホース(すすぎノズル用)
10	ホース・クランプ
1	T字フィッティング
1	ホース(給液用)
1	フィルタ・アセンブリ
1	ホース(すすぎタンク用)
1	保護チューブ
2	ケーブル・タイ

すすぎ用ノズルのホースを取り付ける

注 ホース・フィッティングの端部 (鋸状になっている) に植物油などを塗っておくと楽に接続することができるでしょう。

1. 付属部品の中からすすぎノズル用ホースを探し出す。
注 同じ長さのホースが 3 本あり、1 本はすすぎタンクのポンプ給水ホース、2 本はリンス・ノズル用のホースです。
2. 各ホースの端部にクランプを取り付ける (図 21)。

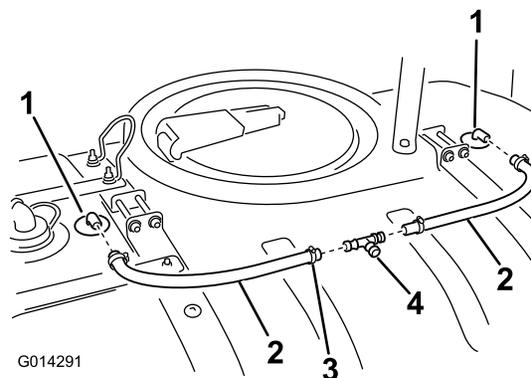


図 21

1. すすぎノズルのバーブ
2. すすぎノズル用ホース
3. ホース・クランプ
4. T字フィッティング・フィッティング

3. すすぎノズルのバーブにホースを接続する (図 21)。
残りのすすぎノズルのバーブにも同じように作業する。
4. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
残りのすすぎノズルでも同じように作業する。

T字フィッティングを取り付ける。

1. 付属部品の中から、T字フィッティングを探し出す。
2. 先に取り付けたすすぎノズル用ホースの、開放側端部にT字フィッティングを取り付ける (図 21)。
3. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

給水ホースを取り付ける

1. 付属部品の中から長い給水ホースを探し出す。
2. このホースの端部から 18 cm の位置に印をつける。
3. 印をつけた位置でホースを切断する。
4. 残った (長い方の) ホースの両端それぞれにクランプを通す。

5. 先ほど取り付けしたT字フィッティングの開放端に、ホースを接続する（図 22）。

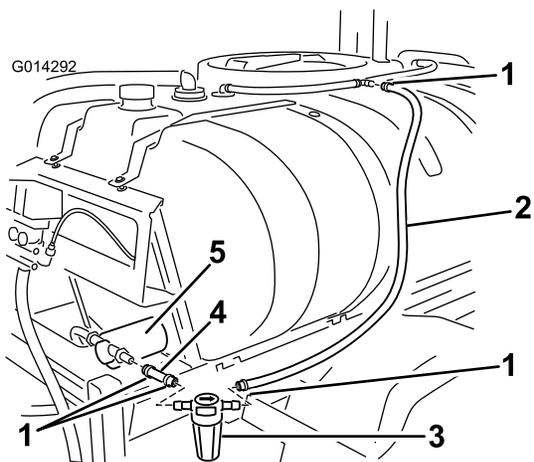


図 22

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ホース・クランプ | 4. 切り取ったホース |
| 2. 長い給水ホース | 5. ポンプ |
| 3. フィルタ | |

6. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
7. 切り取った（短い方の）ホースの両端それぞれにクランプを通す。
8. 短いホースの一端を、ポンプから来ているストレート・バーブに接続する。
9. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

フィルタを取り付ける

1. 付属部品の中からフィルタ・アセンブリを探し出す。フィルタ・アセンブリには流れの方向を示す矢印がついているので注意する。
2. ポンプからきているホースとすすぎノズルへ行くホースとの間にフィルタを取り付ける（図 23）。

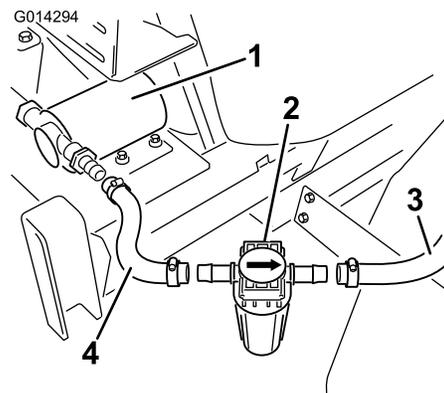


図 23

- | | |
|---------|-------------|
| 1. ポンプ | 3. 長い給水ホース |
| 2. フィルタ | 4. 切り取ったホース |

3. 給水ホースのクランプを、フィルタ・アセンブリのバーブの上に移動させてホースを締め付け固定する。

すすぎタンク用ホースを取り付ける

1. 付属部品の中からすすぎタンク用ホースを探し出す。
2. ホースの片端にクランプを通す。
3. ホースの一端を、すすぎタンクの下についている 90 度フィッティングに取り付ける（図 24）。

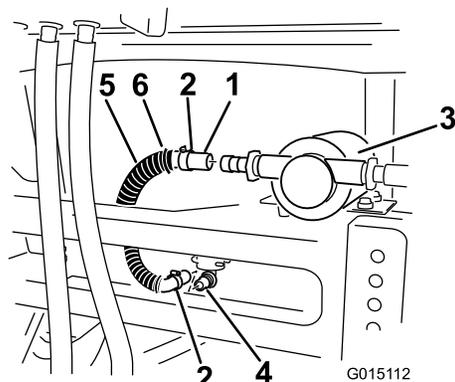


図 24

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. すすぎホース | 4. すすぎタンクのフィッティング |
| 2. ホース・クランプ | 5. 保護チューブ |
| 3. ポンプ | 6. ケーブル・タイ |

4. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
5. ホースがフレーム部材に直接当たらないように、ホースに保護チューブを被せる。
6. ホースのもう一端を、ポンプに行くストレート・バーブに接続する。
7. ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

8. ケーブル・タイ 2 本を使って、被せた保護チューブの両端部をホースに縛って固定する。
9. 付属部品の中からすすぎポンプ用カバーを探し出す。
10. ポンプにカバーを被せ、このカバーのタブをフレーム部材のスロットに差し入れる (図 24)。

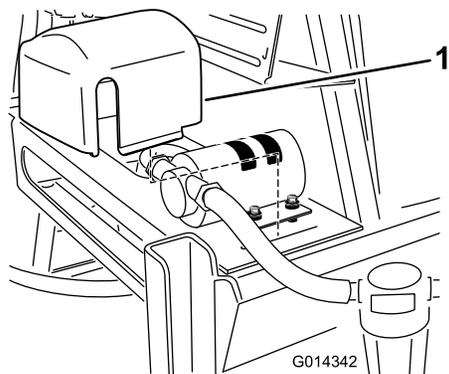


図 25

1. ポンプ・カバー

7

遅延タイマーとダッシュボード・スイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	遅延タイマー
1	ヒューズ, 40 A
1	ダッシュボード・スイッチ
1	リレー
1	電源リレー
2	ねじ #10-24

遅延タイマーとリレーを取り付ける

1. 運転席を倒して、運転席下の電装部にアクセスできるようにする。
2. 付属部品の中から遅延タイマーを探し出し、(図 26) に示す位置にロックナットで取り付ける。

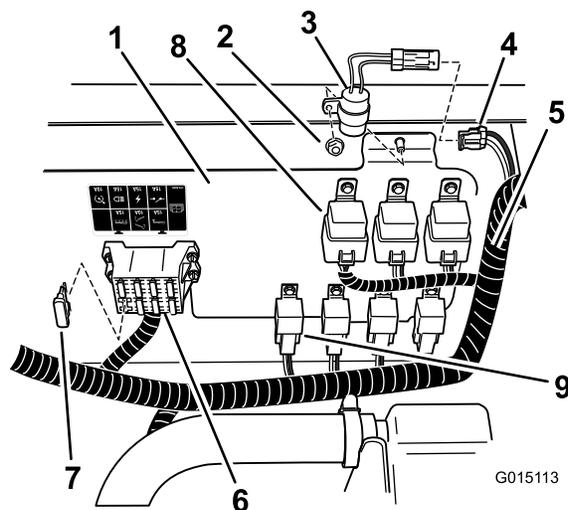


図 26

1. 電装パネル
2. ロックナット
3. 遅延タイマー
4. 遅延タイマー用コネクタ(メイン配線ハーネス)
5. メインのワイヤ・ハーネス
6. ヒューズ・ブロック
7. ヒューズ, 40 A
8. リレー
9. 電源リレー

3. メインのワイヤ・ハーネスから delay timer というラベルのついたワイヤを探し出す。タイマーをメイン配線ハーネスに接続する (図 26)。
4. ヒューズ・ブロックの開きスロットに、(図 26) のように 40 A ヒューズを取り付ける。もし、この位置に既に別の低定格のヒューズがついている場合には、そのヒューズを取り外してその代わりにこの 40 A ヒューズを取り付ける。
5. ラインの中に同じようなリレーが複数あるが、その中から、リンス用と電源用のリレーを探し出し、#10-24 ねじを使ってこれらをパネルに取り付ける。
6. メイン・ハーネスの中から、リレー用と電源リレー用の正しいコネクタを探し出し、これを各リレーに接続する。

ダッシュボード・スイッチを取り付ける

1. ダッシュボード上で、すすぎタンク用スイッチのプラグを探し出す (図 27)。イグニッション・キーのすぐ隣 (1番目のプラグ (穴) がそれである)。

運転操作

リンス・キットの使用法

このリンス・キットを使用すると、タンク内にすすぎ液；すなわち、残存薬剤の薄い液が得られます。多くの場合、すでに薬剤を散布し終わった場所にこの薄い薬剤を散布することに問題はありません。しかしながら、様々なケースが考えられますので、すでに薬剤を散布し終わった場所に、薄い薬剤を散布することで薬剤の効果に悪影響がでないかどうかを、事前に薬剤メーカーに確認するようにしてください。

重要 水和剤を使用する時、水和剤をメイン・タンクに正しい方法で投入しないと、剤を配管などに詰まらせてしまう可能性があります。このキットは、そのような詰まりを除去するためのものではありません。

制御装置

リンス・キットは、1個の3ポジション・スイッチで操作します。

- ・ **上位置**：すすぎポンプが ON になり、スイッチはこの位置でロックし、遅延タイマーが作動してスイッチのランプが点灯します。
- ・ **ニュートラル**：すすぎポンプは OFF になり、スイッチは中間位置になります。
- ・ **下位置**：すすぎポンプが ON になりますが、スイッチを手でこの位置に保持しないとポンプは停止します；遅延タイマーは作動せず、スイッチのランプは点灯します。

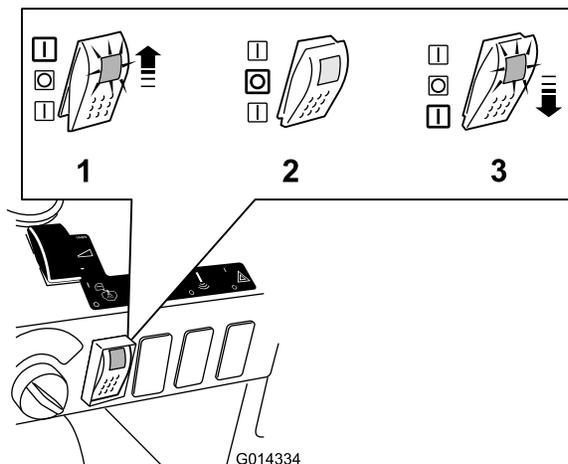


図 28

1. 上位置: タイマー作動すす
2. ニュートラル: OFF 位置
3. 下位置: 手動すすぎ位置

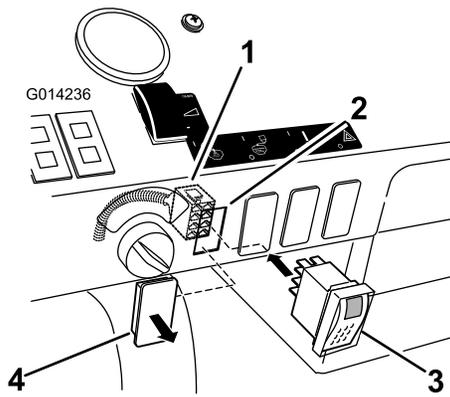


図 27

1. すすぎタンク用のコネクタ (メインハーネスから)
 2. ダッシュボード上の穴
 3. ダッシュボード・スイッチ
 4. プラグ
2. ダッシュボード上のプラグを外して穴にする (図 27)。
 3. ダッシュボードの下から、メイン・ハーネスのうちの rinse tank というレベルのついているボックス型コネクタを探し出す。コネクタを縛り付けているタイを切断してコネクタをダッシュボードの穴にセットする。
 4. ボックス型コネクタにスイッチを取り付ける (図 27)。
 5. スイッチをダッシュボードに押し込むようにして取り付ける。

スイッチを上位置にするとタイマーによる自動すすぎが行われます。ポンプが 90 秒間作動し、すすぎタンクの約 1/3 の量の水がメイン・タンクに送られます。この間、スイッチは上位置にロックされた状態にあり、スイッチのランプが点灯して、ポンプが作動中であることを表示します。そして 90 秒後、ランプが消灯してポンプへの通電が停止したことを表示するとともに、ポンプが停止します。スイッチ自体は上位置のままですので、手動で中央位置または手動位置に動かしてください。

スイッチがニュートラル位置にある時は、ポンプに通電されないの、すすぎキットは OFF 状態です。スイッチのランプは消灯しています。

スイッチを下位置にすると手動すすぎが行われます。スイッチを押している間だけ、ポンプが作動します。スイッチから手を離すと、スイッチはニュートラル位置に戻り、ポンプは停止します。ポンプはスイッチが下位置に押されている間だけ作動し、その間だけスイッチのランプが点灯します。

タンクへの給水

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取ります。

すすぎタンクのキャップを外し、タンクに一杯（約 113 リットル）の真水を入れてください。キャップを元通りに取り付けます。

重要 すすぎタンク（113 リットル・タンク）にはきれいな真水以外は入れないでください。真水以外のものを入れると、安全上の問題や、装置の不具合が発生する可能性があります。

すすぎサイクル

使用方法のひとつとして、タンクに約 40 リットルほどの水が入ったところを見計らって、攪拌スイッチを ON にして攪拌ループに真水を送るとよいでしょう。そして、すすぎが終了したら、すすぎ液をノズルから散布するか、手動でタンクから排水するかします。この方法を使うと、移動走行を行いながらすすぎを実行することができます。

1. すすぎポンプを ON にする

- ・ タイマーによる自動すすぎを行う場合には、スイッチを上位置にセット。
- ・ 希望する時間だけポンプを作動させたい場合にはスイッチを下位置に押す。

2. タンクに約 40 リットルほどの水が入ったところを見計らって、攪拌スイッチを ON にして攪拌ループに真水を送るとよい。
3. すすぎが終わったら、液は、法律に従って処分する。処分方法としては：
 - ・ メイン・タンクが空になるまで、すすぎ液をブームから散布する。
 - ・ または、メイン・タンクのドレン・バルブを開いて、適切な容器にすすぎ液を回収して処分する。

必要に応じ、このすすぎサイクルを 2 回または 3 回繰り返すことができます。

保守

フィルタを点検する

整備間隔: 使用開始後最初の 5 時間
50 運転時間ごと

フィルタに破損の兆候がないか点検してください。破損している場合には交換してください。

すすぎシステムに漏れや破損がないか点検する

整備間隔: 使用することまたは毎日-ホースから液もれがないか点検してください。

使用開始後最初の 5 時間-ホースに破損がないか点検してください。

100 運転時間ごと-ホースと O リングに破損がないか点検してください。

最初の 5 運転時間後、すべてのホースについて、漏れの有無および破損の兆候がないか点検してください。ホースのクランプと、リテーナ・フォークを点検してください。どの接続部もゆるみがないことを確認してください。破損している部品はすべて交換してください。以上の点検を、すすぎシステムを使用する前に毎回実施してください。

100 運転時間後、全部のホースと O リングを点検してください。破損している部品はすべて交換してください。

交換部品についてはトロ社代理店にご連絡ください。

すすぎタンク固定ベルトの点検

整備間隔: 使用開始後最初の 1 時間-すすぎタンク固定ベルトを点検してください。

メイン・タンクに水を入れ終わったら、タンク固定ベルトにゆるみがないかどうか点検してください。ベルトにゆるみがある場合には、上部ベルトの締め具を締めてベルトとタンクとが面一になるようにします。締めすぎないでください。

重要 ベルトを締め付けすぎると、ベルトが変形したり破断したりする可能性があります。

保管

格納期間が30日間以上にわたる場合には、ポンプの吸水ライン、吐水ライン、およびフィルタ・ラインを外してください。



Count on it.